

- Live E！シンポジウム2008開催のお知らせ
～観測センサーを活用して温暖化を防ごう～

- 平成20年9月17日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。理事長:宮原 秀夫)は、広域センサーネットワーク環境を構築するため、その応用事例や研究成果の報告を行い、産学官が研究協力を行う研究開発活動の推進を図ることを目的とする「Live E！協議会」との共同主催によるシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

NICTの大手町ネットワーク研究統括センター(SPARC)では、次世代情報通信ネットワーク基盤を形成する基盤技術を研究開発課題として、センサーネットワークアーキテクチャーの研究を実施しており、広域センサーネットワーク環境の構築に向けた研究開発を推進しております。

シンポジウムは、教育、防災・減災、国際展開、ビジネス応用に関する実証実験の経験並びに成果及び基盤技術の研究開発の現状と成果を産学官で共有し、研究協力を行うことにより、研究開発の拡大と推進を目指すこととしておりますので、関係各位のご出席を賜りたくご案内を申し上げます。

記

- 1 日時 平成 20年9月19日(金) 10:00～18:00
- 2 場所 東京大学 弥生講堂・一条ホール
(<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>)
- 3 プログラム 別紙のとおり
- 4 参加費 無料
- 5 申込方法 以下の申込様式のホームページの「Live E！シンポジウム2008」に必要事項を記入の上、以下のURLへお早めにお申込みください。

URL：申込様式 <http://live-e.naist.jp/les2008/>

< 本件に関する問い合わせ先 >
連携研究部門 テストベッド企画戦略グループ
山口 典史、平松 誠
Tel :03-3272-3060
Fax:03-3272-3062

< 広報 問い合わせ先 >
総合企画部
報道担当
Tel :042-327-6923
Fax:042-327-7587

「Live E！シンポジウム2008」
～ 観測センサーを活用して温暖化を防ごう～

プログラム

1 日 時 2008年9月19日(金)10:00～18:00

2 場 所 東京大学 弥生講堂・一条ホール
(<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/>)

3 主 催 Live E！協議会及び独立行政法人情報通信研究機構

4 プログラム

[1] オープニング

- ・ Live E！協議会 砂原秀樹、江崎浩

[2] Session 1

- ・ 「P2P エージェントプラットフォーム PIAX とそのセンサー応用」
大阪大学/NICT 寺西裕一
- ・ 「1-Wire センサーを利用した安価な無線センサーノードの作成」
東京大学 杉山哲弘
- ・ 「多様な組み込み機器を考慮したセンサー設定用ミドルウェア」
NAIST 川原貴裕
- ・ 「メッセージングネットワーク最新動向」
ネットワンシステムズ 福原英之

[3] Session 2

- ・ 基調講演「オーバレイ・センサネットワーク(仮題)」
ウタゴエ/NICT 首藤一幸
- ・ 「GEO Grid におけるセンサーネットワークと地球観測衛星データの統合利用」
AIST 中村良介、亀井秋英、山本直孝、山本浩万、土田聡、岩男弘毅、関口智嗣、加藤創史
- ・ 「都市と気象災害 ～突発的集中豪雨に対する高密度気象観測の有効性～」
東京都環境科学研究所 横山仁

[4] Session 3

- ・ 「カーボンマイナス70 広島市の取り組み」
広島市 村上加枝
- ・ 「教科教育における Live E！の活用」
広島大学 匹田篤
- ・ 「工業高校で取り組むセンサーネットワーク」
広島市立工業高校 有留悠輔、辻村博之、川浦貴文、谷口和久、金田龍之

[5] Session 4

・ 「Live E! 国際展開・活動報告」

東京大学／NICT 落合秀也
NAIST／NICT 松浦知史

東京大学／NICT 江崎浩
慶應大学／NAIST 砂原秀樹

・ 「Mashup Live E!」

会津大学 川内見作
会津大学／Eyes Japan 衣川昌宏
会津大学 林隆史

・ 「デジタル百葉箱を用いた微気象可視化アプリケーションの開発と応用」

千歳科学技術大学 高岡詠子

・ 「グリーン東大工学部プロジェクト」

東京大学 江崎浩

[5] 懇親会

- ・ 参加費：シンポジウム（無料）
- ・ 懇親会：有料（3,000円程度）

懇親会に参加される方は、<http://live-e.naist.jp/les2008/>を参照の上、お申し込みください。（定員になり次第、締め切ります。）